



様式第 4 号（第 7 条関係）

令和 8 年 7 月 1 3 日

東かがわ市議会議長
工藤 正和様

東かがわ市議会議員
総務建設経済常任委員会
委員長 堤 弘行

行政視察等報告書

1	日 時	令和 8 年 6 月 3 0 日（火）～令和 8 年 7 月 1 日（水）	
2	参加者	総務建設経済常任委員会 堤 弘行 久米潤子 田中久司 山口大輔 田中貞男 橋本 守 東本政行	
3	研修目的等	内容	研修場所
		稼げる「人」を育む、スタートアップの創出・成長について	福岡県北九州市 6/30
		飯塚市商業活性化イベント開催補助金について	福岡県飯塚市 7/1
4	研修・調査内容	別紙のとおり	
5	研修成果	別紙のとおり (感想・今後の取組等)	
6	費 用	562, 932 円	

※領収書(交通費・宿泊費の明細が分かるもの)、研修資料を添付してください。

○研修・調査内容と研修成果

報告者 堤 弘 行

「稼げる『人』を育む、スタートアップの創出・成長について」

[内容]

福岡県北九州市は、福岡県北部に位置する市であり政令指定都市に指定されている。北九州市の面積は約492㎢、人口は899,408人(令和8年6月1日現在)である。

北九州市では、戦略的なスタートアップ支援を令和2年度より取り入れており、人口の維持が重要であり、特に首都圏からの人口を受け入れるのが重要と考えている。また、人口が減少しているのを食い止めるには、雇用先をつくらないといけない。若者に来てもらって、市内大学卒業後は、市内で就職してもらって、住み続けてもらう。人口を増やして、最終的には、税収を増やすのが、この事業の目的である。

スタートアップ企業は、大きく成長する過程で設備投資や雇用を生み出す企業である。つまり、市内のスタートアップ企業を生み出し応援をしていくことが、目的を達成するために重要と考えている。

そして、北九州市は、経済成長を最優先課題に位置づけた基本構想・基本計画を作り、その分野別計画として「稼げるまち」の実現を目指す「北九州市産業振興未来戦略」を策定している。

戦略のスローガンは「世界を先導する『グリーン×テック シティ Kitakyushu』～課題解決先進都市への挑戦～」としている。

その戦略の取組は、主に以下の3項目である。

- ① 海外スタートアップの誘致 → アジア諸国の成長力を取り込む
- ② スタートアップ×課題・市内企業・レガシー産業(製造業) → スタートアップと多様な掛け合わせによる新たな付加価値を生み出す
- ③ 都市間連携・大学間連携 → 広域連携によるスタートアップ支援の推進

また、北九州市のポテンシャルを最大限活用し、以下の3つの分野を中心にスタートアップ支援を行っている。

- ① 「ものづくり」として、ロボット、半導体、宇宙分野
- ② 「グリーン」として、環境や再生可能エネルギー分野
- ③ 「ソーシャルAI」として、AIを使って社会課題を解決していく分野

[研修成果]

本市においても、スタートアップの支援を行うためには、経済成長を目指した基本構想や基本計画を作り、雇用先をつくらなければならない。スタートアップを応援できるよう積極的に企業誘致や誘致のための土地の買収など、計画性をもって、今後、取り組まなければならないと考える。

「飯塚市商業活性化イベント開催補助金について」

[内容]

福岡県飯塚市は、福岡県のほぼ中央に位置し、東は田川市を中心とする田川圏域に隣接し、西は福岡市を中心とする福岡都市圏に、南は久留米圏域に、北は北九州市を中心とする北九州圏域に近接している。

平成18年3月、飯塚市に4町が合併し、現在の飯塚市となっている。面積は213.96㎢、人口は123,098人(令和8年4月1日現在)である。気候は、盆地のため、夏冬、昼夜の気温差が大きく、内陸性気候の特徴を示している。

飯塚市は、第2次総合計画の基本計画「商業の振興」における集客力を高める推進事業として、市内外からの誘客につながる新規性・継続性のあるイベントを開催する市内の団体等に対し「飯塚市商業活性化イベント開催補助金」を交付している。

創設の背景として、中心商店街エリアでは、百縁市、土曜マルシェ、土曜夜市、街道まつりなど、さまざまな既存イベントが開催されており、イベント開催中は、人が集まるものの、イベント開催時以外は人が集まらないという現状がある。

集客力を高め、持続可能な商業振興を図る観点から、以下の内容で補助金の交付を行っている。

- ① 補助対象者は、中小企業で法人格を有するもの又は市内に活動拠点を有する団体
- ② 補助対象事業は、中心商店街エリアからおおむね半径2km圏内で開催され、地域経済の活性化が図られるような演出が企画された市内外からの集客及び宿泊につながる新規性、継続性があるイベント
- ③ 補助金交付額は、補助率3/4 上限50万円
(継続性のある長期間のイベントと認められる場合は100万円上限)
- ④ 募集期間 第1弾募集 令和8年4月9日～5月29日
第2弾募集 令和8年8月3日～9月30日

本事業は、令和8年度からの事業で、研修時点での申請件数は3件、採択件数2件である。

補助対象エリアを、中心商店街エリアからおおむね半径2km圏内に設定した理由については、平成24年3月に飯塚市中心市街地活性化基本計画の内閣総理大臣の認定を受け、コンパクトプラスネットワークのまちづくりを進めており、この経過を踏まえ、交通の利便性が良く集客の見込める場所を考え、市外から人を呼び込むために設定した。また、主催者の主体性を保つため全額補助とはせず、一部は自己負担とする制度とした。

[研修成果]

本市もイベント開催補助金事業がある中で、条件を満たしていれば採択される要綱であるので、もう少し要綱の見直し、検討をした方がいいと考える。